

短期大学部 生活文化学科 | 子ども生活専攻

TANKIDAIGAKUBU SEIKATSUBUNKAGAKKA KODOMO SEIKATSU SENKO

【2年間のカリキュラムイメージ】

科目	テーマ	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
教養	人と自然科学	生物と生命倫理	日本国憲法 ●◇		環境学
	生活と社会			社会学	消費生活と経済
	人と文化	心理学 健康スポーツI ●◇◇	健康スポーツII ●◇◇	健康管理学	文化史
	情報・言語コミュニケーション	日本語基礎 ◇ 英語I ●◇◇ 情報処理I ●◇	国語表現法 ◇ 英語II ●◇◇ 情報処理II ●◇		
	キャリア形成	スタディスキルズ ●	キャリアアップセミナー ●	キャリアサポートセミナーII	
基幹	生活文化学科基幹科目	生活文化概論 ●◇	生活文化各論 ●		
	保育の本質・目的に関する科目	保育原理 ●◇◇ 教育原理 ●◇◇ 子ども家庭福祉論 ●◇ 社会福祉論 ●◇	社会的養護I ●◇		保育者論 ●◇◇ 地域福祉論 ● 子ども家庭支援論 ● 教育・保育制度論 ●◇◇
	保育の対象の理解に関する科目	子どもの保健 ●◇	発達心理学 ●◇◇	教育・保育相談 ●◇ 子ども理解の理論と方法 ●◇◇ 子どもの食と栄養I ●◇	教育心理学 ●◇◇ 子ども家庭支援の心理学 ● 子どもの食と栄養II ●◇
	保育の内容・方法に関する科目	保育内容総論 ●◇◇ 保育内容(健康) ●◇◇ 保育内容(人間関係) ●◇ 乳児保育I ●◇ 教育・保育方法論 ●◇ ピアノI ●◇◇	保育の計画と評価 ●◇ 保育内容(環境) ●◇◇ 保育内容(言葉) ●◇◇ 保育内容(表現I) ●◇◇ 保育内容(表現II) ●◇◇ 乳児保育II ●◇ 子どもの健康と安全 ●◇ ピアノII ●◇◇ 児童文化 ●	教育課程論 ●◇◇ 保育内容の指導法 ●◇ 保育の実技と演習 ●◇ 子どもと健康 ●◇ 子どもと環境 ●◇ 子どもと言葉 ●◇ 子どもと人間関係 ●◇ 子どもと音楽表現 ●◇ 子どもと造形表現 ●◇ 障害児保育 ●◇ 社会的養護II ●◇ ピアノIII ●◇	特別支援教育 ●◇◇ 子育て支援 ● ピアノIV ●
	保育実習・教育実習 保育・教職実践演習	保育実習指導I ●◇ 教育実習(事前事後指導を含む。) ●◇		保育実習指導II ●◇ 教育実習(事前事後指導を含む。) ●◇ 保育実習I ●◇ 保育実習II ●◇	保育・教職実践演習 (幼稚園) ●◇

必修科目

- 卒業必修(内規含む)
- ◆ 保育士取得 必修科目
- ◇ 幼稚園教諭二種
免許状取得 必修科目

幼児教育、保育の基本、 それを実践する表現・方法を学ぶ

1年次は教養科目や専門科目で保育士と幼稚園教諭に必要な基礎学力、知識・技術を学びます。また、保育技術を学ぶ附属保育園・幼稚園での基礎実習も行います。

さまざまな角度から子どもを 深く理解する力を養います

2年次は専門科目の講義・演習や資格・免許取得のための保育・教育実習を行います。実践力の向上を図り、専門性の高い保育士と幼稚園教諭の養成を目指します。

コラム2

2022年度から 取得可能に！ 「ピアヘルパー」資格

「ピアヘルパー」とは、日本教育カウンセラー協会認定の資格。「仲間（ピア）を助ける人（ヘルパー）」という意味で、カウンセリングや関連する心理学の理論・方法について学習します。「人とかわかるために必要な基本的な力を身につけた者であること」が証明される資格といえます。宮城県内の大学・短大のうち、保育士資格・幼稚園教諭免許を取得できる学科としては、最初の導入となります。

取得に必要な授業科目

教育心理学、子どもの保健、発達心理学などの7科目のうち、2科目（4単位）以上を取得することで、試験の受験資格が得られます。その後、例年12月に実施される筆記試験に合格すると、資格が認定されます。子ども生活専攻では、試験対策講座も実施します。

資格を生かせる場

保育士、教諭、看護師など、対人関係能力・コミュニケーション能力を必要とする職業で、「ピアヘルパー」資格が生かされます。



コラム3

ピアノレッスン室

未経験者でも安心！個室で練習OK！

子ども生活専攻では、保育士・幼稚園教諭に欠かせないピアノの技術上達のため、ピアノレッスン室を完備しています。防音設備の整った個室で練習できるので、「上達するまで誰にも聞かれたくない」「一人で集中して練習したい」という場合も安心していつでも利用することができます。

レッスン室を利用している先輩に質問してみました！



子ども生活専攻1年

遠山 凜さん(宮城県/東北生活文化大学高校 出身)

Q 子ども生活専攻に入学した理由は？

A オープンキャンパスの模擬授業体験でピアノを弾かせてもらい、ピアノの楽しさを知りました。子ども生活専攻に入って、もっといろいろな曲を弾いてみたいと思ったのが理由のひとつです。

Q 普段はどのようにピアノを練習していますか？

A 授業がない時間、休み時間、放課後などに、個室のレッスン室を利用しています。空いていればいつでも自由に使えるので、ありがたいですね。

Q ピアノの授業はどのような形式で行われていますか？

A 少人数グループ制の個別レッスンが基本です。レベルごとにグループ分けされる上、一人ひとりのレベルに合わせて指導してもらえるので、安心して上達を目指せます。

Q そもそもピアノの経験はありましたか？

A 実は入学時はまったく弾けなくて、授業や個人練習を中心に経験を積んできましたが、今では、簡単なものであれば楽譜を見ながらすぐに弾けるようになりました。

Q 最後に、現在の目標を教えてください。

A 子どもたちの歌声に合わせてピアノを弾けるようになって、保育・教育実習や、実際に保育士になった際のクラス運営にも生かしていきたいと思っています。

